

1. 本園の教育・保育目標

「なかよく あかるく元気に 挑戦する子」の育成

2. 本年度の重点と取組

- 【感染症対策】 新型コロナウイルス対策を中心として、子どもの安全を守る。
- 【教育方針】 自分で考えて行動したり、自分から挨拶したりする子どもを育てる。
- 【教育・保育内容】 集団としての基本的な生活態度の育成。子どもが興味関心をもって取り組む環境づくり。
- 【保護者との連携】 相談しやすい雰囲気づくり。適切な情報発信の工夫。
- 【食育】 植物の栽培やクッキングなどを通して食べる楽しさを味わう。給食のマナーを学ぶ。
- 【安全管理】 危機管理マニュアルの見直し。安全点検の実施。避難訓練等を通しての安全教育。
- 【連携】 短大や近隣の小学校、地域の施設等と連携して、子どもたちに豊かな経験をさせる。

3. 評価項目と内容および取組状況

☆評価 A：十分達成 B：ある程度達成 C：部分的な改善が必要 D：全面的な改善が必要

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
感染症対策	1 こども園は、新型コロナウイルス感染症などへの感染症対策を行っている。	B	今年度は胃腸炎やインフルエンザ等、様々な感染症が流行したため、その都度適切な対応を行ってきている。保護者にも協力してもらいながら今後も進めていく。
外部評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園としての対策は十分にとられていたと思います。</li> <li>・活動中に水分の補給を促し、子どもの健康に留意していた。感染症については手洗いの言葉をかけたり、子どもたちがそれぞれにハンカチを持参し、落とすことがないようにクリップで衣類に止めるなどに工夫されていた。</li> <li>・万全の感染予防措置が講じられているが、保護者への伝達が十分でない感がある。実践内容を周知させるための更なる手立てが必要と思う。</li> <li>・しっかり対策していただいていたと思いますが、直接、先生の顔（表情）を見て過ごす園生活ではないのが仕方ないことですが、さみしさもありました。</li> </ul>		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
教育方針	2 こども園は、教育・保育の目標や方針を分かりやすく伝えている。	A	園だよりやキッズリーを活用して、迅速な発信をしてきた。個人懇談を増やしたことで直接保護者と話ができる機会も増やすことができた。次年度は、更に懇談会等の回数の改善も行っていく。
外部評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育を通して子どもたちに何が育っているのか、園の保育の考え方、何を育てようとしているのかも伝えていくとよいと思います。</li> <li>・園内の掲示や室内の掲示など、教育保育の方針や内容について、わかりやすく伝える工夫がされていた。</li> <li>・懇談時間の増は多大な効果。保護者と面談や会話を重ねて相互理解を深め、把握した内容を上手に反映させて教育効果を高めている。</li> <li>・上の子がいると保護者の顔を知っていたり流れを知ることができているが、年少の時は親としても不安も多いので、より手厚く園のサポートがあるとよいと思う。</li> </ul>		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
教育・保育内容	3 子どもたちは、集団としての基本的な生活態度が身についている。 4 こども園は、子どもの発達に応じた保育をしている。 5 子どもは、園に行くのを楽しみにしている。	A	園生活での約束等を理解し、自分でできることが増え、自分たちで生活や活動をつくりあげることができるようになってきた。子どもたちの発達段階を意識したカリキュラムは、随時見直しながら進めていく。
外部評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期には、主体性を育てることが大切であることを教育課程に基づいて職員が共通理解していくことが大切だと思います。</li> <li>・子どもたちの集団行動から、保護者への信頼が伺える。おおむね生活態度が身についているところから、発達にあわせた無理のない保育がなされていることも分かるが、一部、サポートの必要な子どもが見受けられた。</li> <li>・満面の笑みは通園を楽しみにしていることが伺える。子どもの会話を耳にすると、成長を実感するとともに、日頃の教職員の入念な準備と熱意溢れる指導が結実していると感じる。</li> <li>・日々の園生活の中で子どもの成長を感じさせられた。</li> </ul>	

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
保護者との連携	6 こども園は、家庭への連絡を適切に行い、意思の疎通に努めている。 7 こども園は、いつでも気軽に相談できる雰囲気があり適切な対応をしている。 8 こども園は、園だよりやキッズリー等で、迅速に情報発信をしている。	B	園での子どもの様子を迅速に保護者に伝える努力をしているが、保護者のニーズと一致しない場合もあり、連携がうまくいかないこともあった。できるだけ時間をつくり保護者の思いや願いを受け止めながら、問題の解決ができるよう心がけていく。
外部評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の活動の様子を知らせることにプラス、子どもたちの育ちを伝えることで園の教育・保育への理解も進むと思います。</li> <li>・お迎え時には、保育教諭が保護者に必ず声を掛けてコミュニケーションをとりながら意思の疎通に努めていた。</li> <li>・丁寧、正確、迅速が求められる領域だが、適切に処理されている。保護者対応は個々異なるので、平素から安直に返答、回答することなく冷静に対応する意識づくりが必要だと思う。</li> <li>・バスでの通園、親の送迎とでは連絡方法が違うと思うが、送迎の際に必要な連絡を受けることができていた。</li> </ul>	

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
食育	9 こども園は、栄養バランスや衛生管理等に配慮し、安心安全な給食を提供している。 10 こども園は、食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つよう工夫している。	A	毎日の給食は、十分な時間を確保して、子どもがじっくり食べることができるようにしてきた。安心安全な給食提供や、給食試食会の実施、給食だよりでのレシピ掲載等栄養士との連携で改善したことも多かった。
外部評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の満足度も高く、園の良さでもあると思います。</li> <li>・預かりのクラスでは、手作りのおやつに人気があり、子どもたちから「おいしい」と声があった。楽しく食べている様子が伺える。</li> <li>・うずら卵を丸のみした給食事故が発生するなど、保護者も懸念していると思うが、給食に必要な時間を十分確保し、こどもの特性、安全に配慮した適切な給食運営が行われていると感じる。</li> <li>・給食やおやつなど子どもとの会話に出ることが多かった。他の方からあったように給食だよりは紙でいただけの方がよい。せっかくの栄養士さんのレシピ等、深く知ってもらえる機会が少し減ってしまうので。</li> </ul>	

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
安全管理	11 こども園は、けがや発熱時等に、丁寧に分かりやすく状況を伝えている。 12 こども園は、防災意識を高め自分の身は自分で守ることができるよう指導している。	A	子どもの状況説明が適切に行われるよう、連絡カードを新設し、丁寧に分かりやすい説明ができるように工夫してきた。避難訓練の他に、不審者対応訓練も行い、防災意識を高めるようにしてきた。今後も必要に応じた訓練を行っていく。
外部評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>園をよりよくしようと工夫されていることが分かりました。</li> <li>小さな怪我でも職員が連絡をとり対処している。保護者が迎えに来た際にも丁寧に伝えていた。</li> <li>行動のすべてを知りたいのが保護者の心理。教職員の負担が増える中、連絡カードの適切な運用により、意思疎通の向上に努めている。幼少期の災害訓練は後々まで記憶する貴重な体験と思う。</li> <li>防災訓練の話の後は行動できるが、クラスでもふとした時に、抜き打ちの訓練などで防災意識をより高められたら嬉しいです。</li> </ul>	

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
連携	13 こども園は、様々な人と関わる体験ができるよう、短大・地域・小学校等との連携をしながら、教育・保育活動を進めている。	A	年長児は、小学校との連携を複数回行い、就学への意欲付けにつなげることができた。また、短大や地域との関わりも回数が増え、園全体での取組になってきている。次年度も引き続き連携を深めていく。
外部評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>幼小の接続について、小学校とのつながりを更に深めていただきたいと思います。</li> <li>短大と交流する機会があり、子どもたちにとっては楽しみな行事のように感じた。また短大の学生も子どもたちと関わることで学びを深めていた。</li> <li>保育科を有する大学と同一敷地内の好環境にある。コロナ禍により各種行事も縮減されてきたが、学生の参加を得ながら利点を活用した効果的運用に努めていただきたい。</li> <li>小学校へ行くことがあったのはとてもよい取組と思いました。一日体験入学がなかった（5～10分ほどの個人面談のみでした）ので、小学校にふれる機会をつくっていただけて安心しました。</li> </ul>	